



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社
 コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蒔野 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 生田 晴来 TEL 0776-53-9200
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	7,267	13.7	2,261	46.4	2,287	45.4	1,454	37.1
28年3月期第3四半期	6,390	2.3	1,544	11.0	1,573	10.6	1,061	12.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,260百万円 (1.8%) 28年3月期第3四半期 1,238百万円 (13.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	63.30	—
28年3月期第3四半期	46.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	15,363	11,599	75.5
28年3月期	14,651	10,798	73.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 11,599百万円 28年3月期 10,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	9.0	2,800	29.3	2,830	28.2	1,810	22.1	78.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	23,000,000株	28年3月期	23,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	24,273株	28年3月期	24,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	22,975,743株	28年3月期3Q	22,975,754株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社及び連結子会社)における当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高7,267百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益2,261百万円(前年同期比46.4%増)、経常利益2,287百万円(前年同期比45.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,454百万円(前年同期比37.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築CAD事業

当第3四半期連結累計期間の住宅市場は、新設住宅着工戸数は堅調に推移しましたが、その中身は東京の人口増加による賃貸マンションと相続税対策による賃貸住宅がけん引しており、戸建住宅業界においては厳しい状況でした。CADソフトウェア販売においてもこれらの影響が少なからず出ており、利益率の高い新規販売がやや鈍化を見せています。しかし、このような市況においても「ARCHITREND ZERO」の省エネ関連商品は引き続き好調を維持しており、7月に発売しました「ARCHITREND VR」の導入が始まりました。

2016年はVR元年と呼ばれ、VRの話題を目にしないう日がないくらいでした。「ARCHITREND VR」も新聞・テレビ・雑誌と多くのメディアに取り上げられ、住宅プレゼンや設計スタディへのVR技術応用が今後の施主満足につながるかと高く評価されております。また、商品以外でも、「住宅検査機構(JI0)」、「ハウスプラス住宅保証」、「住宅あんしん保証」等の大手住宅性能評価機関とタイアップし、約1,500名の設計実務者の省エネ計算の支援を行った点も、同様に評価の声が上がっています。この結果、建築CAD事業の売上高は3,727百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は788百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

②測量土木CAD事業

測量CADソフトウェアについては、新測量CADシステムである「TREND-ONE」を11月に発売しました。

「TREND-ONE」では、3D点群処理システム「TREND-POINT」との3D連携を強化するとともに様々な地図情報の取り込みを可能といたしました。その結果、測量業界の新たな測量手法を提案することが可能となり、測量設計業における導入が進んでいます。新商品の投入や市場における3次元計測対応のニーズから「TREND-POINT」の導入が進みました。

また、土木CADソフトウェアについては、本年度より国土交通省が推進する「i-Construction」が本格的に実施されております。「アイコンサブリ」と題したマンガを交えた解説本を刊行することで、実際に工事を受注される皆さまへの情報発信を行い、「i-Construction」の推進に努めた結果、「TREND-POINT」やCIMコミュニケーションシステム「TREND-CORE」の導入が進みました。この結果、測量土木CAD事業の売上高は3,539百万円(前年同期比25.2%増)、営業利益は1,397百万円(前年同期比101.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、15,363百万円となり、前連結会計年度末より711百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加、投資有価証券の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月21日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,559	8,776
受取手形及び売掛金	1,537	1,369
商品及び製品	27	23
仕掛品	13	20
原材料及び貯蔵品	11	8
繰延税金資産	302	222
その他	286	365
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	9,732	10,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,451	1,409
土地	1,096	1,076
その他(純額)	79	75
有形固定資産合計	2,628	2,561
無形固定資産		
のれん	0	—
その他	33	61
無形固定資産合計	34	61
投資その他の資産		
投資有価証券	1,848	1,566
繰延税金資産	22	18
その他	401	387
貸倒引当金	△16	△14
投資その他の資産合計	2,256	1,958
固定資産合計	4,919	4,581
資産合計	14,651	15,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22	18
未払法人税等	437	393
前受金	1,697	1,830
賞与引当金	310	168
役員賞与引当金	65	52
その他	977	1,043
流動負債合計	3,511	3,507
固定負債		
繰延税金負債	337	252
長期未払金	3	3
固定負債合計	341	256
負債合計	3,852	3,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	6,240	7,235
自己株式	△5	△5
株主資本合計	9,962	10,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	836	642
その他の包括利益累計額合計	836	642
純資産合計	10,798	11,599
負債純資産合計	14,651	15,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,390	7,267
売上原価	1,241	1,411
売上総利益	5,148	5,856
販売費及び一般管理費	3,604	3,594
営業利益	1,544	2,261
営業外収益		
受取配当金	19	17
受取手数料	6	6
その他	3	1
営業外収益合計	29	26
経常利益	1,573	2,287
特別損失		
固定資産売却損	—	8
特別損失合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	1,573	2,279
法人税、住民税及び事業税	375	740
法人税等調整額	136	84
法人税等合計	512	825
四半期純利益	1,061	1,454
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,061	1,454

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,061	1,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177	△193
その他の包括利益合計	177	△193
四半期包括利益	1,238	1,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,238	1,260
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,564	2,826	6,390	—	6,390
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,564	2,826	6,390	—	6,390
セグメント利益	817	695	1,512	32	1,544

(注) 1. セグメント利益の調整額32百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,727	3,539	7,267	—	7,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,727	3,539	7,267	—	7,267
セグメント利益	788	1,397	2,185	75	2,261

(注) 1. セグメント利益の調整額75百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。